



4月26日にオープンしたボートレース蒲郡新スタンド

**答** 近年では毎年20億円を繰り出してきているが、施設改善事業債の償還等によるさらなる収益減も見込まれる。他会計への繰出金額の再考も視野に入れている。

**問** SG等のビッグレースの誘致を含めた今後の

**答** ボートレース蒲郡は平成27年3月に立体駐車場等を完成させ、4月にグランドオープンの予定である。施設改善後の万全な体制でビッグレースを誘致していきたい。

特色のある人間ドックの実施の可能性は

**問** 収益向上のため他の病院にない特色のある人間ドックが可能か伺う。

**答** 現状では人間ドックの全ての検査項目に対応する体制が整っていないが一部に特化して脳ドックは実施している。蒲郡では脳外科や循環器科の医師が充実しているため他の病院にない人間ドックの対応も可能だと考えている。

大竹利信（公明党）

証明書等のコンビニ交付サービスの実施は

**問** コンビニ交付サービスは、利用面では午前6時半から午後11時まで利用が可能であること、店員によるトラブル対応がすぐに行えること、さらにコスト面でも自動交付機と比べ、メリットが多い。実施の考えはないか。

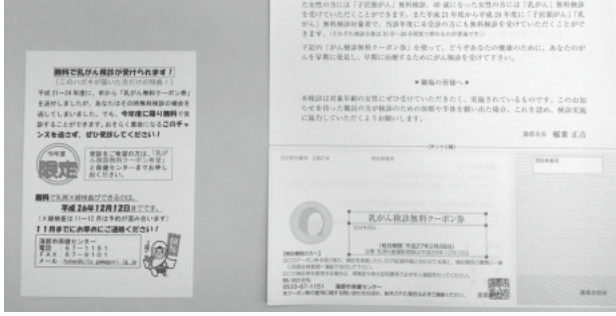
**答** マイナンバー法の成立に伴い、今後さまざま

な手続きで証明書の添付が不要になるという動きもある。個人番号カードの普及状況や、コンビニ交付のコスト低減が、どの程度か等を慎重に踏まえ、実施に向けて研究していきたい。

がん検診のコール・リコール制度について

**問** 平成26年度より厚生労働省が2年間をかけ乳がん・子宮がん検診の無料クーポンの再発行をしている。それに加えて手紙や電話で未受診者への個別勧奨

がん検診のコール・リコール制度について



がん検診受診勧奨はがきと無料クーポン

や再勧奨を行う制度をコール・リコールという。市での実施の方法はどのようか。

**答** 26年度からの対象者には無料クーポンを5月に、25年度までの未受診者には受診勧奨はがきを6月に郵送し事業を進めている。

松本昌成（公明党）

消費税アップに伴う3つの給付金について

**問** 消費税率を8%に改定したことに伴い、国では臨時福祉給付金、子育て世帯臨時特例給付金、県では子育て支援減税手当と3つの給付金が予算化された。蒲郡市の給付方法とスケジュールについて伺う。

**答** 給付方法は申請書に必要事項を記入のうえ同封の返信用封筒により郵送していただき、書類審査の結果給付が決定すれば指定の金融機関の口座に振り込む。スケジュールとしては、7月31日に申請書等を郵送し、8月1日から12月26日までの間を申請書の受付期間とする予定である。

安心カードの準備状況は

**問** 市民の安全安心の確保を図る事業として全国の自治体で緊急連絡先や医療情報などを記入する救急安心カードの取り組みがはじまっている。蒲郡の現在の準備状況はどのようか。

**答** 蒲郡ではカード名称を「安心カード」とし準備を進めている。記入項目などの最終調整や周知の準備ができ次第、2千枚を配布する予定である。

